

IV 令和6年度中堅教諭等資質向上研修（センター研修）の内容

1 研修の対象者

- ・原則教職経験11年目の教員。ただし、状況に応じて12年目または13年目での受講を選択できる。
- ・教職経験11年目を経過し、過去に10年研（平成28年度まで実施）または中堅研（平成29年度から実施）を修了していない教員。
- ・過年度の対象者であったが、受講を延期した教員。

※ 留意事項

- (1) 原則として、教職経験11年目の教員が対象となるが、学校事情により管理職が認めた場合は、12年目または13年目での受講を選択できる。ただし、下記ア～ウの手続きを必ず行うこととする。
- ア 受講年度を変更する場合は、下記【問い合わせ先】にその旨を連絡すること。
- イ 所属長は【研修様式3】（p.53参照）令和6年度研修講座「研修者欠席届・延期届」を総合教育センター所長宛てに提出すること。その際、12年目または13年目のどちらでの受講となるのかを必ず記載すること。
- ウ 小・中・義務教育学校は市町村教育委員会に、県立学校は県教育委員会（高校教育担当）に必ず連絡すること。
- (2) 経験者研修の年数の数え方（pp.59-60）を参照すること。
- (3) 学校事情等により管理職が認めた場合の例
- ・育休または病休や休職のため。
 - ・学校状況により、例年以上に業務負担が予想されるため。

【問い合わせ先】

総合教育センター企画担当（TEL:0198-27-2833）

2 研修期間

(1) 3日間（必須）

- ・「共通」を1日間

※アイーナ（メイン）、総合教育センター（サテライト）、大船渡東高等学校（サテライト）、宮古北高等学校（サテライト）、の4会場で実施する。希望する会場を申込時に選択すること。

※実施要項を確認し、参加する各会場の注意事項を必ず確認すること。

- ・「共通選択」を1日間

・「小学校教諭」、「中学校教諭」、「高等学校教諭」、「特別支援学校教諭」、「養護教諭」、「栄養教諭」のうち1つを1日間

※ 申込方法については、「Ⅲ 研修の申込方法及び留意事項（pp.12～18）」を確認すること。

(2) 1日間（推奨研修）

- ・中堅教諭等資質向上研修としての3日間の研修期間に含まれないが、同時期に実施する下記3及び4に示す「教科スキルアップ」、「スキルアップ」を可能な限り受講すること。
- ・「教科スキルアップ」、「スキルアップ」は校種、職種に関係なく、受講可能。
- ・受講希望者は、「全国教員研修プラットフォーム：Plant（プラント）」で内容を確認し、申し込むこと。ただし、申込締切4月26日（金）の時点で、希望者がいない講座については開講しない。

3 研修の日程

令和6年（2024年）7・8月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	8月1日	2	3
	共通	共通選択	小学校教諭 特別支援学校教諭 養護教諭 栄養教諭	中学校教諭	高等学校教諭	
4	5	6	7	8	9	10
	推奨研修 小学校教科スキルアップ 推奨研修 養護教諭スキルアップ 推奨研修 栄養教諭スキルアップ	推奨研修 中学校教科スキルアップ	推奨研修 高等学校 教科スキルアップ			

4 研修の内容

小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭ごとに、次に示すとおりとする。

(1) 小学校教諭

中堅教諭等資質向上研修 3日間		実施期日
共通 1日	<p>【4講座】※全校種・職種共通</p> <p>① 本県教育行政の課題</p> <p>② 新しい時代に必要な資質・能力の確実な育成を目指して～ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現～</p> <p>③ 共に学び、共に育つ教育を目指す特別支援教育の推進</p> <p>④ 学校で活かす実効的なカウンセリング理論と技法</p>	7月29日(月)
共通選択A 共通選択B 共通選択C 1日	<p>【1講座(選択)】※全校種・職種共通</p> <p>A 危機管理・学校事故と法</p> <p>学校における事件・事故災害に対する組織的対応について、学校安全に関する講義及び演習を通して、教員に求められる最新の知識・技能を習得し、今日的な教育課題に関する法的知識と発生時の危機対応について理解を深める。</p> <p>B キャリア教育</p> <p>キャリア教育に関する講義・演習を通して、キャリア教育の現状と課題、地域と協働して進めるキャリア教育の必要性、児童生徒の将来の社会的・職業的自立に向けた学校教育の在り方を学び、学校教育におけるキャリア教育の進め方について理解を深める。</p> <p>※高等学校教諭(8月2日)の「生徒が主体のキャリア教育について」の講義と一部内容が重複する。</p> <p>C 教育相談(いじめ・不登校への対応)</p> <p>学校臨床心理学の専門家による教育相談の講義・演習を通して、児童生徒のいじめ、不登校等について、臨床心理学的な観点からそのアセスメントや適切な対応等について学ぶ。また、いじめ、不登校等に係る岩手県の現状や課題を捉え、学校として組織的な対応の在り方等について、講義・演習を通して理解を深める。</p>	7月30日(火)
小学校教諭 1日	<p>【5講座】</p> <p>① 岩手の小学校教育の充実を目指して</p> <p>② 岩手における学力向上への取組</p> <p>③ 選択講座A《1講座選択》(※ウはICT活用研修)</p> <p>ア 本県における生徒指導</p> <p>イ 小学校におけるいわての復興教育の取組</p> <p>ウ 小学校における情報活用能力の育成</p> <p>エ 本県における地域と学校の連携・協働の推進</p> <p>④ 選択講座B《1講座選択》</p> <p>ア 外国語教育の実際</p> <p>イ 特別支援教育の実際</p> <p>ウ 特別活動の実際</p> <p>⑤ 年代別講座</p> <p>ア 学級経営改善の視点(30代)</p> <p>イ 学校を支える教員の在り方(40代)</p> <p>ウ 教員の在り方の再考と後輩の育成(50代)</p>	7月31日(水)
推奨研修 1日間		実施期日
小学校 教科スキルアップ 1日	<p>教科別講座《講座選択※》</p> <p>社会、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育</p> <p>※他校種、職種スキルアップも受講可能。25頁2(2)参照。</p>	8月5日(月)

(2) 中学校教諭

中堅教諭等資質向上研修 3日間		実施期日
共通	小学校教諭に同じ	7月29日(月)
共通選択A 共通選択B 共通選択C	小学校教諭に同じ	7月30日(火)
中学校教諭	【5講座】 ① 岩手の中学校教育の充実を目指して ② 岩手における学力向上への取組 ③ 選択講座《ア～エのうち、2講座を選択》(※ウはICT活用研修) ア 本県における生徒指導 イ 中学校におけるいわての復興教育の取組 ウ 中学校における情報活用能力の育成 エ 「特別の教科 道徳」の授業改善 オ 本県における地域と学校の連携・協働の推進 ④ 年代別講座 ア 学級・学年経営改善の視点(30代) イ 学校を支える教員の在り方(40代) ウ 教員の在り方の再考と後輩の育成(50代)	8月1日(木)
推奨研修 1日間		実施期日
中学校 教科スキルアップ 1日	教科別講座《1講座選択》 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、 外国語(英語) ※他校種、職種スキルアップも受講可能。25頁2(2)参照。	8月6日(火)

(3) 高等学校教諭

中堅教諭等資質向上研修 3日間		実施期日
共通	小学校教諭に同じ	7月29日(月)
共通選択A 共通選択B 共通選択C	小学校教諭に同じ ※ただし、「共通選択B」は「キャリア教育」の内容となっており、「高等学校教諭」の「生徒が主体のキャリア教育について」の講義と内容が一部重複する。	7月30日(火)
高等学校教諭	【4講座】 ① 岩手の高等学校教育の充実を目指して ② 生徒が主体のキャリア教育について ③ 年代別講座 ア 学年・学級経営改善の視点(30代) イ 学校を支える教員の在り方(40代) ウ 教員の在り方の再考と後輩の育成(50代) ④ 選択講座《1講座選択》(※イはICT活用研修) ア 高等学校におけるいわての復興教育の取組 イ 高等学校における情報活用能力の育成 ウ 高等学校における特別支援教育の充実 エ 本県における地域と学校の連携・協働の推進 オ コミュニケーション能力の育成	8月2日(金)
推奨研修 1日間		実施期日
高等学校 教科スキルアップ 1日	教科別講座《1講座選択》 国語、地理歴史・公民、数学、理科、保健体育、情報、外国語 (英語)、家庭、農業、工業、商業、書道 ※他校種、職種スキルアップも受講可能。25頁2(2)参照。	8月7日(水)

※「福祉」「美術」は令和7年度、「音楽」「水産」は令和8年度に開講予定。

(4) 特別支援学校教諭

中堅教諭等資質向上研修 3日間		実施期日
共通	小学校教諭に同じ	7月29日(月)
共通選択A 共通選択B 共通選択C	小学校教諭に同じ	7月30日(火)
特別支援学校 教諭	【4講座】 ① 岩手の特別支援教育の充実を目指して ② 年代別講座 ア 実践力の充実期における学級・学校づくりと授業の充実(30代) イ 実践力の発展期においてミドルリーダーに求められる資質能力(40代) ウ 学校運営と学校評価・外部連携(50代) ③ 選択講座A《1講座選択》(※アはICT活用研修) ア 特別支援学校における情報活用能力の育成 イ 児童生徒支援につなげる保護者連携 ④ 選択講座B《1講座選択》 ア 本県における地域と学校の連携・協働の推進 イ 特別支援学校におけるいわての復興教育の取組	7月31日(水)
推奨研修 1日間 推奨研修として、下記の研修を受講可能。 ・小学校教科スキルアップ 8月5日(月) ・中学校教科スキルアップ 8月6日(火) ・高等学校教科スキルアップ 8月7日(水) ※養護、栄養教諭スキルアップも受講可能。25頁2(2)参照。		

(5) 養護教諭

中堅教諭等資質向上研修 3日間		実施期日
共通	小学校教諭に同じ	7月29日(月)
共通選択A 共通選択B 共通選択C	小学校教諭に同じ	7月30日(火)
養護教諭	【2講座】 ① 養護教諭の特質を生かした保健教育のかかわり方と進め方 ～子ども達の命と健康を守り育てる教育実践を目指して～ ～学習指導要領を踏まえて～ ② 年代別講座 ア 学校保健課題解決のための保健室経営と共働の推進(30代) イ 校内ミドルリーダーとしての学校保健の推進と保健室経営(40代) ウ 学校経営と学校保健活動活性化のつながりを意識した保健室経営(50代)	7月31日(水)
推奨研修 1日間 養護教諭 スキルアップ 1日 【2講座】 ① 健康相談の理論と方法 ② 養護教諭における危機管理体制の構築 ※他校種、職種スキルアップも受講可能。25頁2(2)参照。		8月5日(月)

(6) 栄養教諭

中堅教諭等資質向上研修 3日間		実施期日
共通	小学校教諭に同じ	7月29日(月)
共通選択A 共通選択B 共通選択C	小学校教諭に同じ	7月30日(月)

<p style="text-align: center;">栄養教諭</p>	<p>【4講座】</p> <p>① 岩手の栄養教諭が目指すもの</p> <p>② 各教科等における食に関する指導のポイント</p> <p>③ 各教科等における食に関する学習指導案の検討・発表</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 発達段階に応じた食に関する指導と事後指導の在り方 (30代)</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 各教科等の学習内容と学校給食を関連付けた指導の在り方 (40・50代)</p> <p>④ 学校給食に関する栄養及び衛生管理の検討</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 児童生徒の状況を踏まえた栄養管理及び関係機関等と連携した衛生管理と改善の実際 (30代)</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 教職員と連携した栄養管理及び衛生管理の実際 (40代・50代)</p>	<p style="text-align: center;">7月31日 (水)</p>
<p>推奨研修 1日間</p>		<p style="text-align: center;">実施期日</p>
<p style="text-align: center;">栄養教諭 スキルアップ 1日</p>	<p>【3講座】</p> <p>① 学校給食における食物アレルギー</p> <p>② スポーツを行う児童生徒への指導</p> <p>③ 食に関わる個別的な相談指導の在り方</p> <p>※他校種、職種スキルアップも受講可能。25頁2 (2) 参照。</p>	<p style="text-align: center;">8月5日 (月)</p>

5 その他

1月～2月にかけて県教育委員会や各教育事務所が実施する「自己研修シェアリング」に向けた取組み方については、センターWebページに掲載の「自己研修の意義と進め方（中堅教諭等資質向上研修対象者用）」を必ず確認すること。

資料掲載場所：総合教育センターWebページ > 研修 > 自己研修の進め方（令和6年度）